



石井病院

じんけいクリニック

Now Vol.117

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2017.12



『トライやるウィーク』に参加協力しました

トライやるウィークとは、兵庫県下の中学2年生が地域の事業所などで働くことを経験し、「働くことの意義」や「楽しさ、厳しさ」を学ぶ貴重な体験の場です。当院はこの目的に賛同し、11月6日～10日の5日間、神戸市立平野中学校の生徒さん3名を受け入れ「トライやるウィーク」に参加協力しました。

＜参加された生徒さんの感想をご紹介します＞ ※一部抜粋

皆さんとても親切で私が体調をくずしたら、よく気にかけてくださいました。OP室では、ドラマでよくみているような機械があって、すごく迫力がありました。将来の夢はまだ決まっていなかったけれど、今回のトライやるウィークで看護師という夢を持つことができました。病棟では高齢者の方々の身の回りの世話をしていたり、カルテを運んだりとても忙しく走り回っていました。裏方での仕事も多く大変だけどやりがいがあるとおっしゃっていたので、私もそんな看護師になれるようにこれから目指していこうと思います。(K.Tさん)

5日間のトライやるウィークの中でたくさんの体験ができました。デイケアセンターでは、普段は接することのないお年寄りの方から地域の話や趣味の話などを聞けました。病棟の患者さんの食事は人によって違って、口から食べられない人のための液体のものや、とろみをつけてゼリーのようにしているお茶がありました。実際に病院で思っていたのと違って、働いている人の数です。お医者さんや看護師さん以外に看護の補助をする人、リハビリをする人など本当にたくさんの人が関わっていると思いました。(M.Yさん)

今回トライやるウィークでここに来て本当に良かったなと思っています。いつもは他人とあまり話したりしなかった自分が、気が付いたら話に夢中になっていたり、僕が知らない物や器具の使い方を知ったりと、今までの自分にはなかったものが身に付いていました。また、自分の今後を考えられるととてもいい時間と経験になりました。自分的にこのトライやるに参加して、やりたい職種を見つけられました。それはリハビリのメニューを考えたりすることです。そのため、この経験を活かし続けて本当になれるように頑張りたいです。(R.Mくん)



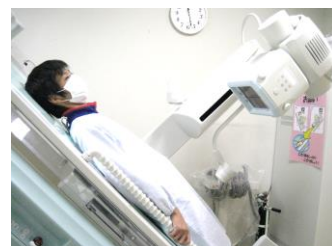
(診療放射線技師長と一緒に)



(OP室にて手術着を試着)



(デイケアセンターでの様子)



(X線装置の動きを体験)



『第41回 いきいき健康塾』を開催いたしました

11月17日(金)、仁恵会 研修センターにて『第41回 いきいき健康塾』
テーマ：訪問診療による在宅医療 を開催いたしました。

前半は、訪問診療担当 林医師の講演、訪問リハビリ担当 村上作業療法士の話、在宅医療に関するDVDを放映しました。

後半は「在宅医療相談会」「血糖値測定」のイベントを開催し、希望された方にご参加いただきました。

当院では、今後も患者さまや地域の皆さまの健康増進・疾病予防に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



(講演とイベントの様子)



石井病院 『回復期リハビリテーション病棟』について

当院の回復期リハビリテーション病棟は24床を有し、リハビリテーション科と連携し、合計24名の療法士が**365日体制**でリハビリテーションを提供しています。

対象疾患は脳血管疾患・股関節、膝関節や大腿骨骨折の術後・脊椎の骨折などの患者さんです。

昨年度は年間延7837人の患者さんに対して53417単位（1単位は20分）のリハビリテーションを実施し1日1人あたり、平均6.81単位（136.2分）でした。

身体機能練習（関節可動域・筋力増強など）や歩行練習、基本動作練習だけでなく、在宅復帰に必要な基本的日常生活動作（ADL）練習（入浴・更衣など）応用的生活動作（IADL）練習にも力を入れています。IADLには家事動作（炊事・洗濯・掃除など）・公共交通機関の利用・買い物を含む金銭管理などがあります。

また、退院前には患者さんと共に自宅を訪問し、実際の住居での動作確認、住宅改修の提案、ご家族への介助方法の指導などを行います。

これからも患者さんをご家族が安心して退院後の生活を送られるよう、きめ細かなサポートで在宅復帰・社会復帰を支援していきたいと考えています。（リハビリテーション科 課長 井村 宗広）



過去半年間の **在宅復帰率は79.3%** です。
在宅復帰率とは、回復期リハビリテーション病棟の施設基準の要件となっており、当院の場合は60%以上が基準となっています。
目標を大幅にクリアすることができました。



じんけいクリニック 患者会「秋の食事会」について

平成29年11月19日（日）シーサイドホテル舞子ビラ神戸（神戸市垂水区）にて、透析患者とその家族並びにじんけいクリニックスタッフ計20名の参加のもと恒例の「秋の食事会」が開催されました。

今回は多くの会員に参加してもらおうべく、タクシーを希望される方は明石駅から舞子ビラまで患者会の費用で送迎することにしましたが、当日に神戸マラソンが開催されており、国道2号線が封鎖されているために舞子坂の裏道を使用することとなり、かえって遠回りとなってタクシーを利用された会員の皆様には迷惑をかけてしまうこととなりました。

舞子ビラは今までに何度か利用しているので見慣れているつもりでしたが、当日は天気も良く明石海峡大橋等の景観が一段と素晴らしかったので改めて感激しました。会場は華やかな中にも落ち着きのある雰囲気、直径2メートル位の丸テーブルが3脚並べられ、各テーブルに6名あるいは7名ずつが着席し開会を待っていました。

最初に佐々木事務長の開会の挨拶の後、患者会代表幹事より「国、自治体への交渉には数が左右するので、入会の促進が重要である」との話があり、その後、会席料理、前菜猪口三種盛りから始まり、お造り三種盛り、蕪湯葉餡かけ、鯉の揚げ物、淡路牛のしゃぶしゃぶ、栗御飯、香の物、汁物等、次々と美味しいご馳走が出てきて、お腹一杯頂きました。食事中は透析曜日が違う患者同士がそれぞれ意見交換等をして過ごし、いよいよのど自慢者によるカラオケ大会、ビンゴゲーム大会では参加者全員に賞品が贈られました。あっという間に終了時間となり、また春の食事会を楽しみに解散しました。

最近では食事会に参加する人が少なくなってきていますので多くの会員の参加をお待ちしております。（患者会 代表幹事 阪本 秀昭）



■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～19:00
土曜 9:00～12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>